



感染者の動向

累計感染者数		691,957人	
累計死亡者	累計回復者	新規感染 (週平均)	新規感染 傾向
9,822人	581,113人	6,788人	急増傾向

4月12日現在の数字 ※出所：バングラデシュ伝染病研究所



日本・海外からの入国制限

日本人の入国

可 ※但し4月14日
～4月20日は不可

外務省渡航情報

レベル3：渡航は止めてください。
(渡航中止勧告)

制限措置・入境後の隔離措置等の概要

【4月14日～20日は国際線の受入停止】

入国制限措置については[外務省海外安全ホームページ](#)を参照。

行動・活動制限の状況

以下のURLを参照。

https://www.jetro.go.jp/world/covid-19/asia/#page_01

空港再開／直行便

空港

14日～20日、国際線の運航停止

日本からの直行便

・4月14日から4月20日の間の全ての国際線（および国内線）は運航停止。

臨時便・特別便

運航なし（許可が得られた場合、運航可能）。特別便によりバングラデシュを発着する全ての渡航者は陰性証明書（出発前72時間以内の検査）が必要。入国する者は、政府指定の隔離施設またはホテルにおいて、費用を自己負担の上、14日間の施設隔離を行わなければならない。



現地政府による主な経済対策

主要経済指標

上半期（7～1月）輸出額 (前年同期比)	工業指数 (前年同月比)
-1.09%	6.6% (2020年9月)

新規の経済対策

概要

特段なし

その他の経済対策および事業者支援策等は以下のURLを参照。

https://www.jetro.go.jp/world/covid-19/asia/#page_bd

経済活動の状況

経済活動制限

現状の制限や規制

- ・ 新型コロナの予防接種（2回目）が4月9日より開始
- ・ 政府は12日、14日～21日にかけての新たなロックダウン措置を発表。原則外出禁止だが、生活必需品を扱う店舗は午前9時～午後3時まで営業可。工場稼働・従業員の移動手段の確保は可能だが、公共交通機関は運行停止。

企業活動における状況と課題

日系企業

- ・ ロックダウン下も多くの日系企業は操業を継続。
- ・ 多くの日系企業の駐在員が再渡航を行っているが、バングラデシュにおいてコロナウイルスの感染対策が大きな課題となっている。
- ・ バングラデシュにおいて邦人が感染する事例もあり、感染時の医療体制についても、日系企業にとって懸念事項の一つとなっている。現状の罹患時の対応策としては、日本人駐在員が利用することが多い病院での入院や自宅療養などが見られる
- ・ 出国時には、**出発72時間以内に政府指定機関にて実施した、PCR陰性証明書**の提出等の取得を行う必要がある。

現地・第三国企業

- ・ ほぼすべてのオフィスや事業所は営業を再開しているが、在宅勤務の導入、時差出勤・分散出勤の運営を行っている企業もある。